

## 町田市特定事業主行動計画（第4次）＜概要版＞

町田市特定事業主行動計画は、市民の期待に応える町田市役所を実現していくため、その担い手である全ての職員が、求められる役割や能力を最大限に発揮しながら効率的に働くことができる職場環境を組織全体でつくるための計画です。誰もがいきいきと意欲をもって働き、活躍できる職場を実現するため、一人ひとりがこの計画の目的を理解し、取組の主体であるとの意識を持って進めていきましょう。

※取組の現状値は2018年度実績、目標値の達成時期は2024年度です。

計画が指すもの・取組・目標値

～誰もが自分らしくいきいき働ける職場を目指して～

### ワーク・ライフ・バランスの実現

#### 取組1 年次有給休暇の平均取得日数の維持及び最低取得日数の向上

◆目標値◆

職員：平均16日以上(現状値16.1日)  
5日以上・全職員の100%(現状値94.5%)  
会計年度：付与日数の半分以上・全職員100%

#### 取組2 360時間を超える時間外勤務者数の低減

◆目標値◆

150人(現状値185人)

～時間や働き方に制約がある人も活躍できる職場を目指して～

### 育児・介護と仕事の両立支援

#### 取組3 育児・介護に関する休暇制度の周知及び理解の促進

◆目標値◆

育児・介護に関する休暇制度の周知・啓発

#### 取組4 男性の育児参加率の向上

◆目標値◆

育児休業取得率28%(現状値23.08%)  
出産支援休暇取得率90%(現状値80%)  
育児参加休暇取得率80%(現状値66.2%)

～性別に関係なくみんなが輝ける職場を目指して～

### 女性の活躍推進

#### 取組5 妊娠期から子育て期におけるキャリア形成支援

◆目標値◆

キャリア形成支援体制の構築

#### 取組6 女性役職者の割合向上

◆目標値◆

管理職に占める女性割合25%(現状値22.39%)  
係長職に占める女性割合35%(現状値33.05%)

課題・現状

年次有給休暇取得日数について、職員により偏りが大きい

時間外勤務の平準化

全職員による育児・介護関連休暇制度の適切な理解と活用

育児関連休暇の制度理解と取得しやすい職場風土の醸成

妊娠期から子育て期のキャリア形成における不安解消・モチベーションアップ

女性職員のキャリア形成における機会の拡大

○年次有給休暇平均取得日数16.1日、時間外勤務総時間数・平均時間数・360時間超職員数は2015年度以降、毎年減少しているが、休暇取得・時間外ともに職員や職場により偏りがある。  
○男性の育児休業取得率は23.08%と高水準だが、育児・介護をする職員は年々増加傾向。育児・介護の需要増加に伴う支援が必要である。  
○女性管理職の割合は22.39%で2015年度より増加しているが、目標値の24%に達せず。役職者だけでなく、総合的な女性のキャリア形成支援の取組が必要である。